

組織の枠を超えて、個人がチャレンジできるプログラム

4th place lab

はみだして、ためそう。

運営：株式会社ローンディール

<https://4thplace-lab.jp/>

運営元：株式会社ローンディールについて



設立：2015年7月 代表：原田 未来 資本金：2,000,000円

所在地：〒107-0061 東京都港区北青山3丁目6-23 7階

TEL：03-6427-1121 MAIL：info@loanddeal.jp

受賞歴

2016年 日本の人事部「HRアワード」優秀賞

2019年 内閣府「日本オープンイノベーション大賞」選考委員会特別賞

2020年 グッドデザイン賞受賞（ビジネスモデル）

主な活動実績

2020-経済産業省 令和元年度戦略的基盤技術高度化・連携支援事業
（新規事業創出の促進に向けた大企業人材の流動化に係る調査）委員

2021-経団連 スタートアップエコシステム変革タスクフォース 委員

2022-経済産業省 宇宙ベンチャーの人材確保に関する検討会 委員

主な事業

・ レンタル移籍 / oversight / side project / WILL発掘ワークショップ 他

目次

- ・P04～08:4th place lab プログラム紹介
- ・P09:コミュニティについて
- ・P10～12:4th place lab メンバーについて / メンバーの声
- ・P13～14:メンバーのはみだし活動事例
- ・P15～16:FAQ
- ・P17:10期メンバー募集について



コンセプト

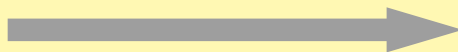
はみだして、ためそう。

組織の枠を超え、探索・実験を繰り返し、
3ヶ月間で自分のWILL（思い・やりたいことなど）カタチにするプログラム

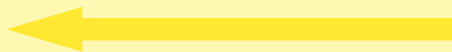


組織で働く個人の方

個人として情熱を持って何かに
取り組んでみたい。



自分を見つめ直して、WILLに出会う。
仲間の力を借りて活動を起こす。



4th place lab

第4の場所

3ヶ月のプログラム

プログラムの特徴

01 フォロワーからスターター（主体的行動を起こす人）になる

自分のWILLを軸にテーマを掲げて、全員が一人ひとつプロジェクトを起こします。
たとえ小さくても「旗を振って何かをやってみる」という経験ができます。

02 積極的に失敗できる

4th place lab は、実験室(lab)です。「試しにやってみる」という感覚で行動を起こすことを推奨しているため、気軽に第一歩を踏み出すことができます。

03 応援・サポートしてくれる仲間ができる

過去に4th place lab に参加したメンバーも交えたコミュニティを通じて、活動のヒントを得たり、コラボレーションできる機会が豊富にあります。
互いが応援し合う、あたたかい場所です。



全体のプログラム

プログラムを通じて「WILL(やりたいこと)の深掘り・アイデア出し・実践」を繰り返し、
プロジェクト化した取り組みを、ピッチイベントにて発表します。

※ すべてオンラインで参加いただけます。

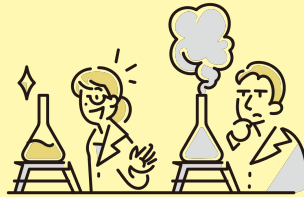
STEP ① WILL発掘ワークショップ (全2回 / オンライン)

自分のWILL(やりたいこと)を対話
を通じて言語化する



STEP ② はみだしアクションプログラム (週1回・全12回 / 3ヶ月 / オンライン)

WILLをベースにアクションを
起こし、小さくてもカタチにする



STEP ③ ピッチイベント (全1回 / オンライン)

自らの取り組みを
発表する



STEP② はみだしアクションプログラム 3ヶ月の流れ

探索活動、仲間づくり、プロトタイプづくりなど、実践プログラムです。

1ヶ月目
自分とつながる



自らのWILL・興味関心事・リソースなどを抽出し、
アクションを通じて、やりたいことを具体化する。

2ヶ月目
仲間とつながる



自らの活動をサポートしてくれる仲間を見つける。仲間
を巻き込むことでできることが増える。

3ヶ月目
社会とつながる



小さくてもプロジェクト化し、社会とつながる
きっかけをつくる。

サポーター

共同発起人のひとりである**小国士朗さん**が参加者のほみだし活動にフィードバックしてくれます。



共同発起人 / サポーター 小国 士朗さん

株式会社小国士朗事務所 代表。元NHK番組制作ディレクター。「注文をまちがえる料理店」、「deleteC（みんなの力でがんを治せる病気にするプロジェクト）」などを手がけている。活動の根底にあるのは「television」の実践。「ひとが見たことがない風景や、触れたことのない価値をカタチにして、できるだけ多くのひとに届ける」という思いがある。



共同発起人 / サポーター 原田 未来

株式会社ローンディール 代表。「レンタル移籍」という事業を通じて、主に大企業の人たちに一定期間ベンチャー企業で働く機会を提供している。新しい働き方の選択肢をつくることで人材の流動性が高まり、個を活かす組織・自らの能力を最大限に発揮できる個が増えていくことが願い。



共同発起人 / サポーター 小林 こず恵

株式会社カラメル 代表。一般社団法人日本遺産普及協会 共同代表。元KADOKAWA ウェブエディター。思いある個人のスモールスタートを応援したい。オリジナルの人生を応援したい。という思いから、4th place lab を発起。

4th place labのコミュニティの特徴

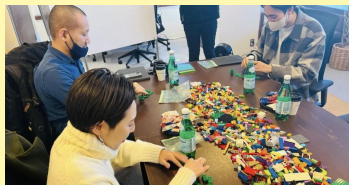
これまで 4th place lab にご参加いただいた方々とつながれるコミュニティ(slack)があります。

みなさんが活動を応援しあえる、あたたかい場所であることを大切にしています。

特徴 01

メンバーの活動に参加できる

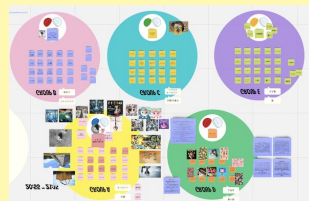
過去に参加したメンバーが
コミュニティで随時自身の活動などを
共有しています。参加したり、サポー
トするなど、メンバーの活動に関わる
ことができます。



特徴 02

気軽に壁打ちができる

コミュニティでは「悩み相談」「募集」
「雑談」等のチャンネルがあります。
気軽に壁打ちやモヤモヤを相談でき
る機会があり、メンバー間で行われて
います。



※ Miroを使いながらモヤモヤを言語化したり
アイデアを膨らませたり

特徴 03

活動の仲間ができる

自身の活動を一緒に進めてくれる仲
間や、コラボ仲間、サポーターなどを
見つけることができる。実際メンバ
ー間で様々なコラボが生まれていま
す。



4th place lab これまでの参加者について

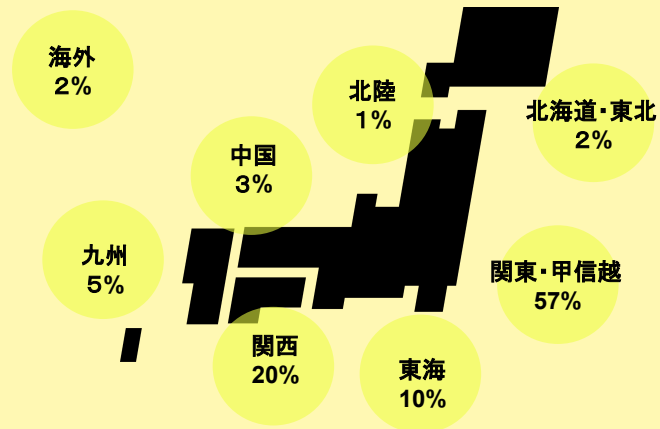
これまでの参加人数

123名

(第1期～第10期の累計)

※ 各期 20名以下の少人数制で実施

- ・対象者:組織に属している方
- ・年代層:20代前半～50代後半
- ・地 域:関東・関西を中心に全国各地(一部海外)
- ・活動テーマ:地域、子育て、働き方、対話、就活、森林、農業、食育、伝統工芸、メンタルケア、余白づくり、孤独解消、防災、ウェルビーイング、ものづくりなど様々なテーマで活動しています。



※ 参加当時のおおよその比率



※ 一部活動の様子

4th place lab メンバーの声



ポジティブで優しい人ばかりで、やれる！できる！など背中を押してもらえた。「はじめてのはみだし活動」だったが、楽しく実現できた。こんな心理的安全性の高い場所はない。

会社や本業とまったく関係なく取り組んでいた「はみだし活動」が会社でも評価され、社内で展開できるようになった。



「すごいことをやらなきゃいけない」と思いこんでいたが、「自分のやりたいことでいいんだ」とか、「こういうことから始めればいいんだ」と、小さな一歩が踏み出せた。

社外で好き勝手に動いてみたことで、本業でも自由に動けるようになった。また、「自分の好き」に徹底的に向き合ったことで、人生に情熱を取り戻した。



◆ もっと 4th place lab の雰囲気を知りたい方はこちら！

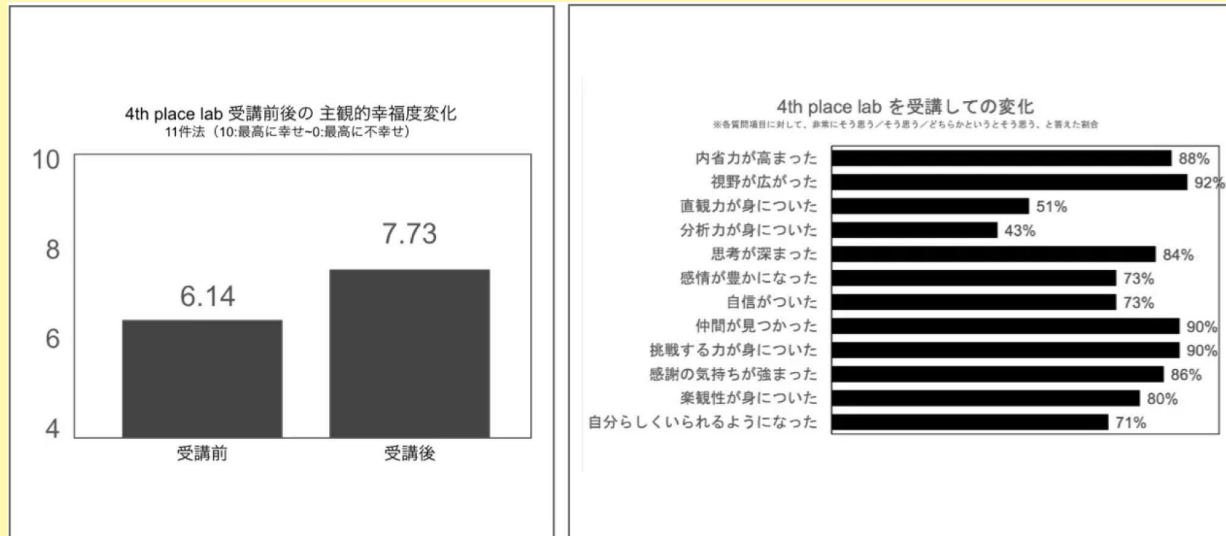
【イベント】参加者の声や4th placeの雰囲気をもっと詳しく知りたい方は、イベントに参加いただけるとメンバーのリアルな声が聞けます！ [👉 イベントの一覧はこちら](#)

【Youtube】YouTubeでは、「3分でわかる4th place lab」をご紹介します！ [👉 YouTubeはこちら](#)

【参考】 4th place lab メンバーアンケート結果

4th place lab で活動したことで、参加者の幸福度が向上！

2023年、参加者に幸福度調査を実施（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の米良克美氏との共同研究）。以下、左のグラフは、世界幸福度調査と同じ11件法を用いて0～10で表したものの**受講前は平均6.14だったのが、受講後は7.73まで増加**。右のグラフは受講しての変化を質問したもので、9割以上が**視野が広がった」「仲間が見つかった」「挑戦する力が身についた」と回答しています。**



※ 4th place lab の1～6期までの受講生による回答（有効回答数:49名）

4th メンバーの「はみだし活動」事例（1/2）

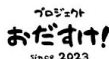
地域



地域が世代を超えてつながる場「ゆるコネ cinema」

自らが住む地域を良くしたい。という思いのもと、自らの趣味でもある映画を軸に、地域の人がゆるくつながれる映画上映会イベントを開催。

地域



その企画、小田原で試みませんか「おだすけ！」

地元・小田原市（神奈川県）のリソースを活用して、誰かの「やってみたい」を応援・支援。第1弾として、地域をゲームで巡る「小田原ゆるロゲイニング」を開催。

日本伝統



あとを継がなかった人たちのコミュニティ「あとつがず」

伝統工芸士の親を持つ発起人が、親のあとを継がなかった人たちを「あとつがず」と呼称し、あとを継がなかったからこそできることを模索。

4th メンバーの「はみだし活動」事例（2/2）

エンターテインメント



ダンサーとミュージシャンのコミュニティ「yureru」

ダンサー・ミュージシャンが会える事で、チャレンジを創出する。発起人が長年ダンスを行っており、ダンサーが活躍する場を世の中に増やしたいという思いがある。

出会い



農コン ～農業 × 出会いを演出する～

農家さんの手伝いをしながら、すてきな恋を育む街コン。
自らが街コンに参加したことで課題を感じ、誰もが安心して参加できる街コンを起案。

ヘルスケア



男女で考える「フェムテック」

人事部門の立場から、「もっとすこやかに働けるようにしたい」という思いで発起。職場で働く仲間が、フェムテックを切り口に、互いの身体や心を知るための活動。

Q & A (1/2)

Q1:どんな人に向いているプログラムか？

A:会社の役割を超えて、「一個人として情熱を持って何かに取り組んでみたい」という方や、「個人活動のきっかけや仲間をつくりたい」など、“実践”を重視している方におすすめです。

Q2:やりたいことが具体的ではないが良いか？ またどんな活動でも良いのか？

A:やりたいことが具体的でなくとも、興味関心ごとや気になるテーマなどがあればご参加いただけます。ワークを通じて具体化していきましょう。また、ご自身がやりたいことであれば、活動ジャンル・規模は問いません。ビジネスにする必要もありません。

Q3:社外活動の経験がないが大丈夫か？

A:もちろん大丈夫です。実際に 4th place lab が初めての社外活動という方も多くいらっしゃいます。無理なく楽しく参加してみてください。

Q4: 4th place labで生み出した活動やアイデアの権利は誰に帰属するのか？

A:生み出した参加者ご本人に帰属します。

Q & A (2/2)

Q5:どのように活動支援をしてもらえるのか？

A: ワークショップや壁打ちを通じて、やりたいことの具体化・行動の起こし方などをお伝えし、仲間づくり・発信機会など、実践の場を提供しています。

Q6:全プログラムに出る必要があるか？また仕事などでどうしても出られない場合はどうしたら良いか？

A: 毎回異なる内容ですので、基本的には全部出ていただくと良いかと思いますが、もちろんご事情がある場合は遅れてのご参加や、お休みいただいて構いません。お休みされた方は、任意で動画視聴の上、ご自身でワークを行っていただくなどのご提案をしています。

Q7:プログラムはオンライン(Zoom)のみで参加できるか？ オンライン参加時に顔出しは必要か？

A: はい、すべてオンラインで参加できます。ワークショップや対話がメインになりますので、基本的には顔出しをお願いしていますが、個人ワークの時間や、お仕事やご家庭などの事情で難しい時は、ビデオオフ・音声オフでも構いません。

その他のご不明点はお気軽にお問い合わせください。➡ [お問い合わせはこちら](#)

4th place lab 11期メンバー募集！

・活動期間: 2024年9月～11月(3ヶ月間)

※ 毎週火曜日の夜(20:00～21:30)

・参加方法: オンライン(Zoom)

・活動内容: ① 週1回(全12回 / Zoom)プログラムへの参加

② WILL発掘ワークショップ(全2回 / Zoom)への参加

③ ピッチイベント(全1回 / Zoom)への参加

・参加費用: 4万円(※ 既に「WILL発掘ワークショップ」を受講済みの方は3万円)

・参加条件: 組織に所属している個人の方(地域・年齢・ご経験は問いません)

※ ただし社会人3年未満の方は除く。3年未満の方はまずは組織で軸づくりを頑張ってもらいたいという思いから

・参加人数: 20名以下

・選考方法: 書類(エントリーフォーム)・Zoom面談(30分 / 1回のみ)を通過された方

・応募締切: **2024年8月6日(火)**

▼ エントリーはこちら ▼

<https://forms.gle/xaTnfrakAcfS1JiA8>